

第7号様式（第7条関係）

2026年 3月 31日

海老名市議会議長 殿



会 派 名 涼風の会

代表者名 ありい あいこ

2025 年度政務活動費収支報告について

海老名市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項により、別紙のとおり 2025 年度政務活動費収支報告書を提出します。

第8号様式（第7条関係）

2025 年度政務活動費収支報告書

会派名 涼風の会
 経理責任者 吉田みな子

1 収 入

政務活動費 432,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研究研修費	0	
調査旅費	0	
資料作成費	326 ✓	
資料購入費	1,010 ✓	
広報費	422,009 ✓	
広聴費	1,500 ✓	
要請・陳情活動費	0	
事務費	0	
その他の経費	0	
合 計	424,845 ✓	

3 残 額 7,155 円 ✓

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

2 関係書類として、領収書等の証拠書類を添付する。

支出伝票(兼領収書)

2025年10月20日

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	資料作成費				
摘要 (何を)		数量	単価	金額	
ゼロックス使用料				211	
合計			211		
用途	ゼロックス使用料4月から9月分				

決裁欄については、押印又は白票でお願いたします

納入通知書兼領収書

〒
住所 海老名市勝瀬175-1
涼風の会
様

金額	211 円
延滞金	円
合計	211 円
納期限	令和 7 年 10 月 31 日
摘要	ゼロックス使用料 4月分から9月分

令和 7年度 所属 910100 議会事務局
会計 01 款 20 項 04 目 02 節 02
細節 13 私用複写機利用料

令和 7 年 10 月 17 日

海老名市長



口座番号	
加入者名	

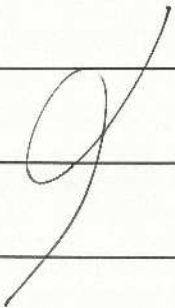
神奈川県
海老名市



(収入印紙不要)
(納付者保管)

支出伝票(兼領収書)

2026年3月19日 ✓

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	資料作成費				
摘要 (何を)		数量	単価	金額	
ゼロックス使用料				115	
					
			合計	115 ✓	
用途	ゼロックス使用料10月から3月分				

納入通知書兼領収書 ㊞

〒
住所 海老名市勝瀬175-1
涼風の会
様

金額	115 円
延滞金	円
合計	115 円
納期限	令和 8 年 3 月 31 日
摘要	ゼロックス使用料 10月分から3月分

令和 7年度 所属 910100 議会事務局
会計 01 款 20 項 04 目 02 節 02
細節 13 私用複写機利用料

令和 8 年 3 月 12 日

海老名市長



口座番号	
加入者名	

神奈川県
海老名市

領収日付印

(収入印紙不要) (納付者保管)

支出伝票(兼領収書)

令和 8年 1月 20日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	資料購入費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
情報公開請求			4	10	40	
合計				40 ✓		
用途	・「2024年度海老名市特別支援学級に在籍する児童・生徒への支援についての要望書」への回答書					

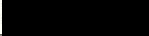
決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。

納入通知書兼領収書

〒 243-0406
住所 海老名市国分北 3-19-47
涼風の会
有井 亜衣子
様

令和 7年度 所属 040100 文書法制課
会計 01 款 20 項 04 目 02 節 02
細節 95 その他雑入

金額	40 円
延滞金	円
合計	40 円
納期限	令和 8年 1月 30日
摘要	行政文書の写し代として (白黒 10円 × 4枚) 「2024年度海老名市特別支援学級に在籍する児童・生徒への支援についての要望書」への回答

口座番号 
加入者名 

領収日付印

(収入印紙不要)
(納付者保管)

令和 8年 1月 16日

海老名市長



神奈川県
海老名市

支出伝票(兼領収書)

令和 8年 2月 10日 ✓

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	資料購入費				
摘要 (何を)		数量	単価	金額	
情報公開請求		97	10	970	
合計			970 ✓		
用途	・こども育成課の令和7年度予算の予算要求書				

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。

納入通知書兼領収書

〒 243-0406
住所 海老名市国分北 3-19-47
涼風の会
有井 亜衣子
様

金額	970 円
延滞金	円
合計	970 円
納期限	令和 8年 2月 12日
摘要	行政文書の写し代として (白黒10円×97枚) こども育成課の令和7年度予算の予算要求書

令和 7年度 所属 040100 文書法制課
会計 01 款 20 項 04 目 02 節 02
細節 95 その他雑入

口座番号
加入者名

領収日付印
8. 2. 10
7
海老名市支店
(収入印紙不要)
(納付者保管)

令和 8年 1月 28日

海老名市長



神奈川県
海老名市

支出伝票(兼領収書)

令和 7年 4月 27日 ✓

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費				
摘要 (何を)		数量	単価	金額	
施設使用料(ピナレッジ)				1,200	
			合計	1,200 ✓	
用途	・議会報告会開催のため				

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄(添付しきれない場合は裏面へ)

領収証 涼風の会
ありい あいこ

様 No. 07851

¥1,200-

但 ピナレッジ"会議室201 使用料にて

入金日 2025 年 4 月 27 日 上記正に領収いたしました

海老名市さつき町51番地の2
指定管理者 相鉄・コナミスポーツ共同企業体

収入
印紙

内訳

税抜金額 ¥1,091

消費税額等(10%) ¥109

登録番号 T6020001015213

支出伝票(兼領収書)

令和 7年 5月 14日 ✓

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費				
摘 要 (何を)		数 量	単 価	金 額	
新聞折込(議会報告レポートvol.6)		1		24,816	
			合計	24,816 ✓	
用 途	・朝日新聞3800部、毎日新聞600部、日経新聞300部				

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄(添付しきれない場合は裏面へ)

領 収 証

No. 0063

広告依頼者

涼風の会

ありい あいこ

様

折込日 2025 年 5 月 14 日 (GK) 合計金額 ￥ 24,816.-

税率	税抜金額
10%	消費税額

広告主/タイトル	納品日	サイズ	希望配布エリア
市議会議員	5/10	A3 2ツ折	海老名市全域
新聞銘柄	枚 数	単 価	金 額
朝 日	3,800	4.8	22,560
毎日	600		
日経	300		

折込料金として上記金額を正に領収致しました。 2025 年 5 月 12 日 (A)
ASA 折込広告基準に則り、広告内容を審査した結果、折込広告をお断りする場合があります。

ASA海老名・座
所長 本立 龍 介
〒243-0405 神奈川県海老名市国分南2-
TEL:046-231-0873 FAX:046-232-
T 201010101130
登録番号:

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が惜しくも否決！

賛成10/反対11の僅差でした。

(意見書提出：立憲民主会びな)

賛成討論をしました！

選択的夫婦別姓の導入の議論が国会をはじめ各地で拮抗しています。海老名市でも意見書が提出され、私も可決を目指してさまざまな働きかけをしました。一票差で否決されてしまい悔しい限りです。私は賛成討論に立ち、結婚時に姓を変えることでアイデンティティの喪失を感じる方がいることや、この問題の当事者が男性優位社会の中で女性というマイノリティであると同時に女性の中でもマイノリティにあたるため、理解が進まない問題について訴えました。また、同姓でなくなると家族の一体感が損なわれる、子どもが可哀想という意見に対する反論

として、そのような考えは非常に画一的であり家族の在り方は国や他人に押し付けられるものではないこと、すでに事実婚や国際結婚などで親と子の姓が異なる家庭は多くあり、それらの家族は絆が弱く子は可哀想だと言うのは差別的であることを明言しました。

政進会と参政党の議員からは反対討論がありました。「通称利用拡大で不便はなくなる」「日本の伝統的家族感を破壊する」などの意見でしたが、私の主張とは噛み合わないものでした。みなさんはどう考えますか？是非3人の討論を見て考えてみてください。



こちらから動画をご覧いただけます！→

市長の発言に対して、有志の市議7名で抗議をしました！

市長が施政方針や記者会見の場で、政務活動費の廃止や議員定数削減について言及したことに対して抗議をしました。政務活動費は議員活動のために交付されるもので、使途基準を設けて1円から領収書を提出して内容の報告をしています。市長は「不透明な支出」と発言しましたがそれは誤解を招く発言です。また議場でも「政務活動費を廃止して議員報酬に転化すれば良い」との考えを示していますが、議員報酬にすれば使途は自由ですから、議員活動に使われたかどうかは問えなくなり、そもそもの政務活動費の目的から逸脱します。市長は「予算編成権は私にある」と強調しながら、議論が進まなければ来年度は予算を削って提案するとまで言いました。さらに、議員

定数の削減についても言及していますが、行政のチェックを担う議員の人数を削減することについて、市長の立場で言及するのは行き過ぎであり、越権行為と言って過言ではありません。市長は「議員を一人減らすことで、議員報酬を上げるための原資にする」との考えも示していますが、議員定数と議員報酬は切り離して考えるべきですし、本来議会が考えることです。

申し入れ書を市長に直接渡すことは叶わず、副市長に代理で受け取ってもらいました。新聞社も同席し後日記事にもなりました。二元代表制を軽視するような言動に対して、しっかり抗議の声をあげなければ、議会の自律性は守れません。

市民のみなさまへ

公共の在り方やインクルージョン(包摂)、マイノリティの権利についてなど、目指したい社会と現実との乖離に日々苦悩しています。そのような中でも、作風の違いや、学習支援ボランティアの謝礼アップ、妊婦健診の補助額アップなどは求めてきたことであり、小さいけれど確かな変化も感じています。また、市民のみなさまからの意見や相談は市政をアップデートしていくためにとても重要です。ささいなことでも構いませんので、気軽に声をお寄せください！



メール: ebina8dori@gmail.com
電話番号: 090-2496-5778

種族最終日は涼風の会吉田みな子議員と
「stop genocide in GAZA free PALESTINE」の
Tシャツ(自作)を着て登壇しました！→

【ありあいこプロフィール】

1981年生まれ。国分北在住。4人家族。デザイン専門学校を卒業後、企業にてグラフィックデザイナーとして12年勤務した後、出産と子育てを機に退職。2021年に海老名市公共施設附帯駐車場有料化に反対して活動。家事と子育てをしながら、教育や対話、環境問題を考える会、戦争体験を語り継ぐ会などを企画。2023年に無所属新人として初当選。現在は海老名市議として「対話から生まれるやさしみちへ」をキャッチフレーズに活動中。LIN-Net(ローカルイニシアティブネットワーク)賛同者。

「日々の活動についてはこちらからご覧ください」

【公式 HP】



【Instagram】



【海老名市議会 HP】



海老名市議会議員

ありあいこ レポート

ありあいこ事務所: 〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷 4-5-19

東建ニューハイツ海老名

Tel: 090-2496-5778 Mail: ebina8dori@gmail.com

涼風の会

2025年
第1回定例会
議会報告

海老名市内の小中学校の給食費、保護者負担は据え置きに！

食材費高騰の影響で、学校給食に係る食材費にも影響が出ています。昨年度は高騰分を公費負担していましたが、今年度からは公費負担がなくなり保護者負担が増えることが懸念されていました。しかし12月議会に市民からの陳情が2件提出されたことや、保護者負担の在り方検討会の結果などを受けて、今年度も公費負担を継続し保護者負担は据え置きにするという判断がされました。このこと自体は本当に喜ばしく安堵したのですが、今回の改正案では、公費負担は1年間の期限付き、さらに来年度からの給食費は小学校で年間7400円、中学校で年間9000円値上げするという内容が含まれていました。文教社会常任委員会の中で、来年度以降どうするのか質問したところ、「特例措置が1年間で終わってしまったらそのまま(値上げした額)でいくのかも含めて議論をする」という答弁もあったため、来年度以降の値上げを容認することはできないと判断し、条例案に反対をしました。給食費については、現在国で無償化の議論が進んでおり、2026年からまずは小学校で実施するという方向が示されていますが、まだどうなるかはわかりません。そのような中、全国で約30%の自治体が国に先駆けて給食無償化を実施しています。国は子育て世帯への支援策を拡充していく必要があるとの考えから、給食食材費も公費負担にしていこうと、大きく舵をきっています。それだけ経済的に厳しい家庭が増えている現状があり、給食に対する考え方をアップデートしていく時です。海老名市においても、給食を教育の一貫として捉え子育て支援の枠で考えること、多子世帯への補助など一部無償化なども含めて、前向きに議論してほしいことを求めました。

3月に市内中学校の給食時間を視察させていただきました。準備・喫食・片付けに約30分ではあまりにも短いのでは？と思っていましたが、子どもたちは特に問題なさそうにこなしていました。しかしながら、楽しい喫食時間になっているのかは疑問で、「学校の当たり前」を見直す一環として給食時間の在り方についても、もっと余裕のある豊かな時間になる改善が必要ではないかと強く感じました。



本庁舎駐車場条例が可決・・ 反対討論が5人、賛成討論は2人

市役所駐車場にゲートを作り、目的外利用をする人からは料金を徴収できるようにするための条例について、涼風の会は一貫して反対の立場で質疑や討論をしてきましたが、残念ながら賛成13反対8で可決となりました。市民からは条例の撤回を求める陳情書が出ており、パブリックコメントでも反対意見が多数。さらに採決前の討論では、反対討論5・賛成討論2であり、市民の意見としては反対の声が大きかったにも関わらず、議会で可決されたことが悔しくなりません。反対した理由は下記の通りです。

① 時期について

市役所周辺の開発が進んでいるとはいえまだ途中であり、今年10月の芝生広場の保育園開所に合わせなくても市民の利用に支障はない。また昨年12月のバブコメ実施後すぐ、この3月議会に条例が上程されており、市民的な議論が不十分で進め方が急すぎる。運用面の詳細もまだ未定なことが多い。

② 経費について

ゲートのリース料が年間約700万円かかるが、駐車場から得られる収入は月1万円程度の見込み。限られた財源を分配していく中で、税金の使い方として適正といえるか疑問。

③ 公共の在り方について

市は、無料のままだと不正利用が増えるという性悪説に基づいて「料金徴収」が必要だとしています。公共の在り方として性善説に基づく態度が重要。「市民は良識を持って行動する」ということを信じて周知を徹底し、料金徴収は最後の手段とするべき。

市長は今までも、コミセンや公園の一部有料化について発言しており、タウンミーティングでは喫煙所やトイレの有料化を肯定する発言もしています。今回の市役所駐車場条例では、市役所利用者は無料ですが、今後有料になる可能性は否めません。「公共」がどんどん壊れていくことを危惧します。市民の声と議会の結果が異なることも残念です。

一般質問

議員は行政の仕事や政治姿勢などを、本会議場で市長・教育長・理事者（行政を執行している人たち）に問うことができます。公の場で明らかにしたいことや主張したいことなどをテーマに選び臨みます。

ありいあいこ 3月の一般質問①

フルインクルーシブ教育について

昨年度から、海老名市教育委員会は神奈川県教育委員会と協定を結び、「フルインクルーシブ教育推進市町村」になりました。障がいのある子やさまざまな特性や属性のある子もすべての子どもが地域の公立学校で学べることを目指すことは、これから先の社会全体の在り方を考えるうえで、大変重要であり、理念に深く共感します。しかし、保護者などからは想像がつかない、現実味がないなどの声を多く聞いています。市が開催した対話会や勉強会に参加し、個人的にも市民のみなさんとの対話会を開催するなど、私なりに考えて見えてきた課題を中心に、教育委員会に質問をしました。

その一つが、「特学親の会」という特別支援級に通わせている保護者の方々からの声です。この会が毎年市に出している要望書では、フルインクルーシブ推進への不安や、人手不足の現状を訴える声が上がっていました。フルインクルーシブ教育を推進するうえで当事者性の高い特学親の会の声に真摯に向き合うことが大切だと考え、教育長の見解を聞きました。教育長としてもその認識はもっており、昨年対話の場でさまざまな声を聞いたとのこと。支援級の子と同じ教室になると学力が下がるのではなどという心無い声が特学親の会の保護者に向けられることもあるということで、これからは保護者向けに対話の場を設けていく考えとのことでした。今後もさらなる丁寧で配慮の行き届いた対応をしてもらうことを要望しました。

また、スペシャルサポートルームについても昨年一年の取り組みと今後について質問しました。昨年度からすべての小中学校に場所と支援員が設置されましたが、広さが不十分だったり、半日しか利用できなかったりという不便さがありました。支援員については令和7年度から一日配置できるようになったとのことですが、場所については学校毎に違っておりまだ課題が残っています。また、静かに学習できる子にとっては良い制度なのですが、逆に多動気味など、落ち着いて教室にいることが難しい子のための居場所がないことについて、もっと気軽にだれでも利用できる居場所が必要ではないかと質問をしました。回答の中で「学校の中にいつでも過ごせる遊び場を作っているのか」という声もあるという発言もあり、まだまだ理解が進まないことを痛感しました。教室以外にリラックスしたり息抜きしたりできる場所を設けることは不登校を未然に防ぐ効果もあり、子どもたちにとって必要な空間です。前向きな議論をしてほしいことを求めました。



What's Inclusion?

さらに重要なのは、フルインクルーシブ推進の土台となる教員の負担をどう軽減するかです。昨年9月に質問した教員の事務仕事の軽減に効果のある「スクールサポートスタッフ」の拡充について再度質問しましたが、県に拡充を求めているものの今年度の拡充はなく、市費での配置も検討されておらず残念です。県の教育委員会にて、教員の働き方改革の指針の見直しが行われているとのことなので、その動きも注視していきたいと思っています。また、チーム担任制や少人数学級の実現に向けての見解も質問しましたが、制度の改革は県とのやり取りになるため時間がかかるとのこと。教員を増やすことは難しくても、地域の人が教室でサポートをすることができる「学習支援ボランティア」という仕組みを利用すれば、1クラスを複数人で見ることができ、教員や子どもの負担軽減に繋がります。また、チーム担任制は人数を増やさなくても仕組みを変えれば可能で、取り入れる学校が増えてきていますので、引き続き海老名での実施の検討を求めています。

最後に、市長に対して、今後フルインクルーシブ教育について市全体で取り組んでいく姿勢について質問をしたところ、「海老名市は十分に障がい福祉の施策をやっている！」「いくらい政策があってもお金がなければできないから自主財源を確保していくためには田んぼを潰してマンションを作ることも必要！」などの回答がありました。市長がフルインクルーシブ教育を支持していることや、障害福祉に予算をつけている自負があることは理解できます。しかし、当事者からは、さまざまな改善の要望が聞きます。果たして海老名市が障がい者にとって住みよいまちなのかどうか、市長が「障がい福祉の」ソフト面で海老名は一番になった」と言い切ったことには疑問があります。私がこの一年で学んだ一番大きなことは「障がいの個人モデル」と「障がいの社会モデル」という考え方です。簡単にいうと、障がいに伴う困難さをその個人の機能障害に置くのではなく、社会がそもそもさまざまな障がいのある人がいることを前提にした作りになっていないことを問題の要因として捉えるということです。これがインクルージョンであり、ほとんどどこに行っても実現していないのが現状ではないでしょうか。これを海老名市の学校現場で実現しようとしているのですから、これは本当に大きな改革です。今年度は市民会議も立上げるとのことなので、是非みんなでフルインクルーシブな社会について考えていけたらと思います！

ありいあいこ 3月の一般質問②

市民の防犯意識向上について

2月に、住んでいる地域の路上で公然わいせつ事件があり小学生女児が被害にあいました。保護者間とPTAの校外委員を通じて連絡が回りましたが、市や学校からは連絡がなかったことについて、保護者の間では連絡があったほうが良いのではという声が上がりました。そこで、市の地域づくり課に相談したところ、始めはあまり必要性について共感してもらえなかったのですが、他市では公式LINEで流している例があることを伝え、海老名市でも可能かどうか調べてもらったところ、神奈川県警が発信しているピーガルくん安全メールを公式LINEでも流すことが仕組み上は可能であることが分



かりました。一般質問では、今後警察との調整などをして環境を整えば実施をしたいという前向きな答弁をもらうことが出来ました。現在は、神奈川県警の「ピーガルくん安全メール」に登録すると地域の防犯情報が得られます。公然わいせつが定期的に起きていたため、情報を知り地域の目で子どもたちを守っていくことが大切です。是非お試しください。海老名市公式LINEでの配信については色々クリアしないと実施できないそうなので、引き続き注視していきたいと思っています。

涼風の会は、令和7年度予算に反対しました！

市長は令和7年度の予算を「まちづくり第二ステージにふさわしい超積極予算として編成した」として、**普通建設事業費が77億800万円（前年度比42億8000万円、124.8%の増額）**など、まちづくりに大規模な予算が計上されました。開発に伴い懸念される交通渋滞や保育園・学童・小中学校の収容力の不足などは依然として課題ですが、さらに市役所西側の田んぼなどを宅地化しそこだけで5千人も増やそうとしています。市長は田んぼなどを宅地化し人口を増やして税収を上げることが必要だと言い切りますが、それによって住みやすさが

後退してしまっは元も子もありません。**豊かな自然があり、教育や福祉を最優先に考え税金を分配し、市民参加の仕組みがあり常に市民と行政の間で対話が行われている、そんな街を目指してほしい！**そのためには、一度立ち止まり、広く市民の声を聞いて、今までの考え方からの軌道修正が必要ではないでしょうか。今後さらに開発が進むことで、すでに後手後手になっている諸問題の悪化が懸念されます。気候危機への対応やケアワーカーへの支援という視点も十分とは言えません。市民生活に寄り添った行政運営を強く求めていきます。

文教社会分科会で質疑した主な内容

- ✔ 特別支援級の介助員不足と同姓介助を求める声については、現在圧倒的に少ない男性の介助員の割合を増やす努力をしていくとの回答がありました。
- ✔ 先生や生徒のサポートをする有償ボランティアである『学習支援ボランティア』の謝礼が千円から二千元に増額。良い人材の確保に期待します！
- ✔ 給食の地産地消について、関わる野菜の生産者が6軒も増え、使用品種も増加しています。予算は据え置きですが、今年の取り組みも注視していきます。
- ✔ 妊婦検診の補助額が6万4千円から8万5千円に増額！やっと近隣他市に追いつきますが、全国平均は10万円とのこと。県の動きにも注視が必要です。



委員の様子 You Tube 海老名市議会チャンネルでご覧いただけます。↓



- ✔ 幼稚園への補助について、保育園に入れなかった人の受け皿になっている面もあるため、さらなる支援が必要であることを求めました。
- ✔ 子育て支援センター増設のスケジュールについてと、「木育」の考え方について質問しました。
- ✔ わかば会館を、障がいのある子どもに特化した施設にしていけるための設計費について、子どもたちが安心できるような雰囲気や環境作りを求めました。

支出伝票(兼領収書)

2025年6月5日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
郵送代			609	96	58,464	
						
合計				58,464 ✓		
用途	議会活動レポート郵送のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書

涼風の会

様

「別納引受」
区内特別基金 (定) 609通
@96 ¥58,464

小計 ¥58,464

郵便物引受合計通数 609通
課税計(10%) ¥58,464
(内消費税等(10%) ¥5,314
非課税計 ¥0

合計 ¥58,464
お預り金額 ¥60,000
おつり ¥1,536

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済


〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年 6月 5日 13:05
発行No. 250605A3260 端N31箱02
連絡先: 綾瀬郵便局
TEL: 0570-943-646

支出伝票(兼領収書)

2025年6月19日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
郵送代			230	96	22,080	
合計				22,080 ✓		
用途	議会活動レポート郵送のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書
涼風の会

「別納引受」
区内特別基 15.0g
@96 230通 ¥22,080

小計 ¥22,080

郵便物引受合計通数 230通
課税計(10%) ¥22,080
(内消費税等(10%)) ¥2,007
非課税計 ¥0

合計 ¥22,080
お預り金額 ¥22,500
おつり ¥420

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年 6月19日 11:36
発行No. 250619A7649 端N80箱01
連絡先: 海老名河原口郵便局
TEL: 046-232-2290

支出伝票(兼領収書)

2025年 9月4日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
郵送代			517	96	49,632	
合計				49,632 ✓		
用途	議会活動レポート郵送のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書
涼風の会

様

[別納引受]
区内特別基
@96

(定)
517通

15.0g
¥49,632

小計
¥49,632

郵便物引受合計通数
課税計(10%)
(内消費税等(10%))
非課税計

517通
¥49,632
¥4,512
¥0

合計
お預り金額
おつり

¥49,632
¥50,000
¥368

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年 9月 4日 14:37
発行No. 250904A8170 端N29箱01
連絡先: 綾瀬郵便局
TEL: 0570-943-646

支出伝票(兼領収書)

2025年10月9日

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
郵送代			123	96	11,808	
						
合計				11,808		
用途	議会活動レポート郵送のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書

涼風の会

様

「別納引受」
区内特別基金 (定) 123通
@96 15.5g
¥11,808

小計 ¥11,808

郵便物引受合計通数 123通
課税計(10%) ¥11,808
(内消費税等(10%)) ¥1,073
非課税計 ¥0

合計
お預り金額 ¥11,808
おつり ¥12,010
¥202



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年10月 9日 16:53
発行No. 251009A9978 端N80箱01
連絡先: 海老名河原口郵便局
TEL: 046-232-2290

支出伝票(兼領収書)

2025年11月10日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
郵送代			616	96	59,136	
合計				59,136 ✓		
用途	議会活動レポート郵送のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書

涼風の会

様

[別納引受]
区内特別基
@96

(定) 616通

15,59
¥59,136

小計

¥59,136

郵便物引受合計通数

課税計(10%)

(内消費税等(10%))

非課税計

616通

¥59,136

¥5,376

¥0

合計

お預り金額

おつり

¥59,136

¥60,000

¥864

印紙税申告納

付につき難町

税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社

東京都千代田区大手町2-3-1

登録番号 T1010001112577

取扱日時: 2025年11月10日 11:57

発行No. 251110A0894 端N29箱01

連絡先: 綾瀬郵便局

TEL: 0570-943-646

支出伝票(兼領収書)

2026年1月20日

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費				
摘要 (何を)		数量	単価	金額	
封筒代				30,814	
合計				30,814	
用途	議会活動レポート郵送のため				

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収証

宅急便コレクト

お問い合わせ
3804-4990-4586

2026年 1 月 20 日

TEL.

神奈川県海老名市

額収金額(代金引換額)
の訂正はできません。
右記金額を正に受領致
しました。

代金引換額(税込)
30,814円

消費税額等 2,801円

入金内訳
現金 円
商品券 円

吉田 みな子 様

TEL. 06-4302-7740

大阪府大阪市平野区
喜連東5-16-15

〒547-0021

封筒屋どっとこむ/(株)タクセル 様

紙製品

ヤマト運輸株式会社
TEL.03-6671-8080

商品および代金の内容に関するお問い合わせは上記発送元へご連絡下さい。
領収書別・日付および追当票は裏面に記載しております。

送料一万円未満
付につき京橋
印紙税申告納
税務署承認済

2026年1月13日

243-0433 神奈川県

海老名市

涼風の会 吉田 みな子 様

封筒屋どっとこむ

株式会社タクセル

547-0021

大阪府大阪市平野区喜連東5-16-15

TEL:06-4302-7740

FAX:06-4302-7741

お支払方法: 代金引換

毎度お引き立てありがとうございます。

登録番号:T5120001133914

合計金額

¥30,814

10%消費税 ¥2801

- 明細 P.1 -

No	商品番号	商品名	数量	金額
1	1J2601-0040318401	長3イエロー70 ヨコ貼(干梓付き)	4000	¥30,484
2		送料		¥0
3		代引手数料		¥330

■ご注意■

商品に万全を期しておりますが、当方の過失により商品が破損などしておりました場合、改めて商品をお送りいたします。それ以外による商品破損については、補償できかねますので予めご了承願います。



郵便区内特別

海老名市議会議員

吉田みな子

事務所

〒243-0433 海老名市河原口1-7-12-201

TEL&FAX 046-289-2014

E-mail mina@y.zaq.jp



支出伝票(兼領収書)

令和 8年 2月 1日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘 要 (何を)			数 量	単 価	金 額	
施設使用料(ピナレッジ)					900	
/						
				合計	900 ✓	
用 途	・議会報告会開催のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄(添付しきれない場合は裏面へ)

領 収 証

涼風の会 ありいあいに

様 No. 08361

¥900-

但 ピナレッジ 301会議室 使用料として

入金日 2026 年 2 月 1 日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

内訳

税抜金額 ¥819-
消費税額等 (10%) ¥81-

海老名市さつき町51番地の2
指定管理者 相鉄・コナミスポーツ共同企業体

登録番号 T6020001015213

支出伝票(兼領収書)

令和 8年 2月 1日

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
コピー代(ビナレツジ)					3,000	
合計				3,000		
用途	・議会報告会で配布する資料(涼風の会ありいあいこレポートvol.7の)コピー					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収証

涼風の会 ありいあい

様 No. 08363

¥ 3,000-

但 コピー代として

入金日 2026 年 2 月 1 日 上記正に領収いたしました

収入
印紙

内訳

税抜金額 ¥2,728.
消費税額等 (10%) ¥270-

海老名市さつき町51番地の2
指定管理者 相鉄・コナミスポーツ共同企業体

登録番号 T6020001015213



一般質問で取り上げたこと

6月～12月の一般質問の概要です。詳しい内容はQRコードからアーカイブ動画をご覧いただけます。気になることがありましたらお気軽にご連絡ください！

6月

- ①発達に凸凹のあるこどもの支援について
- ②小中学校の通知表について
- ③海老名運動公園再整備計画について

①小中学校における合理的配慮の状況について確認し、当事者だけではなくすべての人が発達凸凹を理解し具体的に使えるものについて共有している状態を整備してほしいことを要望。②フルインクルーシブ教育推進の中で通知表をどうしていくか確認。評価の仕方を見直していくとの回答あり。③コンセプトに「インクルーシブ公園」とあるが当事者の声をどれだけ反映させるのか確認。人工芝はマイクロプラスチックの観点から使用しないことを要望。



12月

- ①きょうだい児について
- ②子ども・若者等の意見聴取について
- ③多様な学びの保障について

①障がいのある兄弟・姉妹を持つこどもを指す「きょうだい児」への行政の支援について先進市の取り組みを紹介し支援拡充を要望。前向きな回答あり。②こどもコミッショナーやこどもアドボカシーの取り組み、子どもの権利条例の制定について進めてほしいことを提案。③海老名市の不登校児童生徒数は412名（2024）。フリースクールが一部の子どもたちの受け皿となっているが持続可能な経営が厳しいのが現状。公費投入の必要性を訴えた。



9月

- ①包括的性教育について ②農地の市街化と人口増について

①人権をベースに科学的根拠に基づきジェンダー平等の視点を大切にする包括的性教育を広く市民に伝えたい強い想いで質問。教育委員会は積極的に取り組んでいましたが、保健福祉部や男女共同参画の管轄は理解不足だったため研究して市民に広く周知してほしいことを要望。②人口15万人を目指す海老名市は、受皿となる宅地を確保するために、田んぼが広がる市街化調整区域を開発しやすい市街化区域に編入しており、すでに市役所周辺の約39.4ヘクタールが市街化区域に編入された（右図1）。さらに次の計画が進行中で、上今泉や下今泉、上郷・河原口、市役所西側など計4か所、合計85ヘクタール（右図2）が市街化される予定。どこまで都市化するのか、環境や市民生活に与える影響についてどのように考えているのかを多角的に質問。市長の回答をしては、地権者が農業を継続できず売りたいというのを止められないということでした。



図1)



図2)

都市計画審議会での議論のご報告

私はこれからの時代は気候危機や食料危機、災害への備えなどが重要で、都市化よりも自然を守り農地を守ることに価値が高まると考えています。そのような立場から、審議会では都市化や人口増の弊害について問いましたが、市はあくまでも今の都市計画を遂行しているため意見は合わず、市の利便性の良さから人口増加は避けられないため、宅地を増やさないと狭小住宅が増えることなどが懸念されるため宅地増は必要との回答でした。また他の委員から市街化区域の生産緑地がどんどん宅地化されていくことに対して、市が買い取って計画的に整備するべきではという意見も出ていました。海老名市は生産緑地の買収は行っておらず、宅地化は

仕方ないという姿勢です。海老名市の土地価格が上がっていることや農業の担い手不足もあるため非常に難しい問題であると痛感しています。しかしながら、今のまちづくりの方向性に賛同はできません。今後の市街化区域編入を注視し、みなさんとともに考えていきたいと思っています。



Vol.7 2026.2

海老名市議会議員

ありいあいこ レポート

2023年に無所属新人として初当選。
吉田みな子議員と会派『涼風の会』を立ち上げる。
現在の所属委員会は【文教社会常任委員会（副会長）】【広報委員会】【議会改革特別委員会】【都市計画審議会】

Tel:090-2496-5778 Mail:ebina8dori@gmail.com



涼風の会

2025年度
6月～12月
議会報告

今改めて問いたい『公共』の在り方について

市職になって丸2年が経ちました。市民と議会の距離を近づけていくことをモットーに、引き続き活動していきたいと思っています。さて、12月定例会において市長が「公共トイレもある程度有料化しないと管理できない」と発言しました。これはたち議員の一般質問において喫煙所の在り方についての答弁の中で出てきた発言で、「何でもタダで使えるということではなく使う人が一定の負担をするという時代になっていく、アメリカのレストランのトイレはほとんど有料だ」とも言っています。

市長は、私が議員になって初めての一般質問で公共施設附帯駐車場有料化について取り上げた際にも、「公園の遊具を設置するには何千万円もかかるが使用料はとれない。魅力があれば1時間100円の遊具だっていいと思っている。」と発言したり、コミセンについても「電気代くらいは負担してほしい」と発言したり、新しく作る公共施設についても「高い投資をするのだから利用料を上げてある程度回収したい」と発言するなど、公共施設の有料化や値上げに前めりの姿勢を示しています。実際に今、総合福祉会館の機能を新たに建設する『文化交流拠点』に移転するとしていますが、利用料金や減免制度がそのまま維持されるか未定です。今までの市長の発言を見ると利用料値上げや減免規定が厳しくなる可能性があると懸念します。他にも、高齢者や障がい者の外出を支援する福祉車両「ぬくもり号・さくら号（無料）」は令和8年5月末で運行終了となり、代替サービスとして「Youバス」と「えび〜くる」がありますがどちらも有料です。

海老名市の物価高対策は申請・購入式の商品券のみ！

海老名市は、国の『物価高対策重点支援交付金』9億1千149万円をすべてプレミアム付き商品券事業に充てることになりました。申請して購入する必要があるため、仕事や介護で多忙な方や病気や障がいがある方など、申請困難な方が一定数いることが懸念されます。抽選ではなく買いたい人全員が買えるようにするそうですが、そうであれば商品券を全員に郵送する方が全市民に支援が届きます。しかも在勤者も購入可能で、交付金の目的から逸脱しています。買った人は得をしますが、支援が必要な方が取りこぼされる可能性の高い事業内容に涼風の会と共産党は反対しましたが、賛成15名・反対3名で可決。行政も議会も市民生活に寄り添っているとはいいがたく、とても遺憾に思います。



議員報酬引き上げ？議員定数削減？ 政務活動費廃止？

2025年3月に市長が施政方針で発信したことを契機に、議会では【議会改革特別委員会】が設置され、私も委員の一人として意見を述べながら、議論に参加してきました。市民のみならずには分かりにくい点が多いと感じていますが、深刻な問題がいくつも絡んでいます。何が問題なのか是非知って欲しいので、今まで議会改革特別委員会で議論してきた経緯をまとめました。

なにが問題？
どうなってるの？



議員報酬・議員定数・政務活動費に関する議論の経緯！

3月 ※市長が議論を求めた

市長が施政方針の中で、政務活動費廃止と合わせて議員報酬引き上げと議員定数削減について議会での議論を求めた。

(越権行為として有志の議員7名で抗議文を提出。本会議でも議論があった)

4月

議会改革特別委員会が設置され、議員間での議論開始。

(委員会では他にもハラスメント対策や情報保障なども取り扱う)

5月

議員報酬を上げるなら政務活動費廃止や議員定数削減をして全体の費用のバランスを取るべきという意見(政進会・公明党)と、議員報酬・政務活動費・議員定数は分けて考えるべきという意見(涼風の会・共産党・立憲民主・無党派)があり平行線。

6月

政進会より、まずは議員報酬の議論を進めるために、議員報酬と政務活動費は切り離し、議員定数についても今は議論せずに後から議論すべきという考えが示された。議員定数を削減して議員報酬の原資にするという考えには反対の立場を示した上で、その方向で議論を進めることに合意。

9月

政務活動費の使徒基準について、もう少し柔軟にしたい意見と現状維持で良いという意見で分かれる。

11月

報酬審議会からの答申あり。報酬額は適当としつつ、付記として財源確保に鑑み議員定数削減や政務活動費廃止について検討すべきと記載があった。報酬審議会が財源について言及することは今までにないことで極めて異例。

12月

報酬審議会の答申の付記はあくまでも意見であり義務ではないとし、議会は議会としての議論を粛々と続けることで合意。

市長はあくまでも自分の主張を通す姿勢！

市長は3月の施政方針の時から一貫して、政務活動費を廃止することと議員報酬を上げること、そしてその原資として議員定数を削減することをセットで進めることを議会に求めています。議会での議論が進んでいてもそれを尊重せず、自分の意向を踏まえた議論をすることを求めており、それがなされない場合は市長側から議案として提案するとまで言っています。市長と議員がそれぞれ自律した権限を持ち、相互に組織運営へ干渉しないことが、二元代表制を担保するためには重要です。市長がここまで議会運営に踏み込んだ発言をすることは議会として無視できないことであり、議会改革特別委員会でも取り上げました。

10月14日 報酬審議会

冒頭挨拶にて、「報酬を上げるだけでは市民の合意は得られないから議会の総予算が変わらないように議定数を削減する方法を取りたい。」などと発言。

10月30日 市長定例記者会見

(議員報酬引き上げの交換条件として)「議員報酬引き上げの原資として議員定数を3人減らし、政務活動費を廃止して議員報酬に振り分ける。議員提案がなければ12月に市長提案として出す。」と発言。

11月27日 市長定例記者会見

「私の主張を踏まえて3月議会に提案したいと複数の議員から提案があったので12月議会提案は見送った」「私の意向を踏まえてというのが言質。まったく無視したものがでてきたら私は出し直す」と発言。

涼風の会の主張はこちらです！ 【議会改革特別委員会にて】



政務活動費を廃止して、議員報酬に転嫁することに反対！

政務活動費とは、地方議員の調査研究など議員の資質向上のために交付される費用です。例えば研修会費・視察の旅費・レポート印刷&配布費・書籍購入費・事務費などに使用でき、使った分は全てホームページで公開していて、使わなかった分は返還します。これを議員報酬に転嫁するとどうなるかというと、公開の義務がなくなりますから今まで議員活動に限定して使われていた費用が使途不明となり何に使っても良いことになります。さらに今までは使わず余った分は返還されていましたがそれもなく全額報酬として受け取るようになります。さらに、海老名市の政務活動費は月額18,000円ですがこれは他市と比べてかなり低い額です。にも関わらず

予算執行率が50%位と低いのですが、それは会派によって執行率が0%から100%までかなり差があることが原因です。会派ごとに様々な考え方があり執行率が異なるのはいいのですが、廃止して報酬に転嫁したらブラックボックスで使途は議員の自由です。私は議員報酬を上げるより、議員の資質を高めるために政務活動費を上げて欲しいと主張しました。他会派からも増額を求める声は上がりましたが、現状維持という意見が多く、増額の議論は執行率が上がってからということできず現状維持という結論になりました。(市長は令和8年度に政務活動費を廃止して報酬に転嫁するという意向を示していますが・・・)

議員定数を減らすことに反対！

現在海老名市の人口は約14万人で議員定数は22名ですが、これは全国的に見ても決して多い訳ではありません。定数を削減することで懸念されるのは、議会に多様な意見が反映されにくくなることです。定数が減ると組織や団体の後ろ盾・地盤・知名度のない人が選挙で不利になり、新しい意見を持つ人や少数意見を代表する議員が誕生しにくくなります。私は地方議会にもっと当事者目線を持った議員が増えて欲しいと思っています。地域の課題が多様化する今、一つの意見が最善することなく多様な意見を持つ議員の合議が重要です。定数削減は一律効率化やコストカットのメリットがあるように思われますが、結果的に議会の多様性が失われ権力の固定化を招く恐れがあるため、反対です。

議員報酬引き上げについて

報酬を引き上げるためにはその必要性を市民に説明できるだけの客観的事実が不可欠です。今回は28年間変わっていないことと消費者物価指数の上がり幅を引き上げの根拠としています。議員の立場上、責任の重さに見合うだけの報酬額が必要で、議員はその分市民に還元できるように働かなければならないと考えています。しかしながら現状を見てみると、居眠りしている・私語が多い・発言を全然しない議員もいますし「市民のために働いているの？」と思われても仕方のない面もあります。個人的には今の報酬額を引き上げる必要性は感じていないため、引き上げに反対はしないが積極的に賛成もしないという立場です。

市長の発言に対して、再度抗議しました！

市長は、3月に抗議したにも関わらず10月と11月の定例記者会見で議会のことについて踏み込んだ発言をし、さらに議会から自分の意向を踏まえた提案がない場合は市長側から条例提案するという威圧的な発言もしました。(詳細は左ページ参照)これは議会の自律性を侵害するもので看過できないとして、再度涼風の会として抗議をしました。

議会の自律性とは？

地方議会が外部(市長など)からの干渉を受けず、内部の組織・運営(会議規則、会期、懲罰、議員の資格など)を自らの意思で自主的に決定・処理する権限のこと。これにより、議事の円滑な進行と独立性が保障されます。



支出伝票(兼領収書)

令和 8年 2月 11日 ✓

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘 要 (何を)			数 量	単 価	金 額	
議会報告レポートの印刷とポスティング					102,559	
						
合 計					102,559 ✓	
用 途	・涼風の会ありいあいこレポートvol.7の印刷とポスティング					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領 収 書 等 添 付 欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書



涼風の会

有井 亜衣子様

取引年月日：2026年02月11日(水)

領収書番号：R-AM260210-3119347867

下記正に領収いたしました。

合計金額 (税込) 102,559円 ✓

ラクスル株式会社



10%対象 102,559円 (内消費税: 9,323円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
AM260210-311934786 7-1	ポスティング チラシ 両面カラー / A3 (297x420mm) / 光沢紙 / 90kg / 町丁目配布 (配布方 法：標準配布) / お手元送付300部	6,740部	93,236 円	配布予定期間：2026-02-16 ~ 2026-02-21

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 93,236円
小計 (税抜)	93,236円
合計金額 (税込)	102,559円

お支払い方法: コンビニ支払い

873P

コンビニ支払い (PG) 払込受領証 (お客様控え)

1 / 1

店舗名 246617 海老名国分北四丁目
発券日時 2026年02月11日 13時14分
予約番号
お客様会員番号
お客様氏名 有井 亜衣子

お支払い金額
102,559円



お支払後の返金は当店ではお受けできません。お支払内容に関しては下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先： サポート窓口
電話： 0345779200
受付時間： 09:00-19:00

お問い合わせや領収証のご依頼は上記までご連絡ください。この払込受領証は大切に保管してください。

収納代行会社
GMOペイメントゲートウェイ株式会社
東京都渋谷区道玄坂1-2-3
渋谷フクラス

申込No. 2466170424765598

Loppi

お客様へのご案内

禁止 複写

禁止 複写

申込No. 2466170424765598

一般質問で取り上げたこと

6月～12月の一般質問の概要です。詳しい内容はQRコードからアーカイブ動画をご覧いただけます。気になることがありましたらお気軽にご連絡ください！

6月

- ①発達に凸凹のあるこどもの支援について
- ②小中学校の通知表について
- ③海老名運動公園再整備計画について

①小中学校における合理的配慮の状況について確認し、当事者だけではなくすべての人が発達凸凹を理解し具体的に使えるものについて共有している状態を整備してほしいことを要望。②フルインクルーシブ教育推進の中で通知表をどうしていくか確認。評価の仕方を見直していくとの回答あり。③コンセプトに「インクルーシブ公園」とあるが当事者の声をどれだけ反映させるのか確認。人工芝はマイクロプラスチックの観点から使用しないことを要望。



12月

- ①きょうだい児について
- ②子ども・若者等の意見聴取について
- ③多様な学びの保障について

①障がいのある兄弟・姉妹を持つこどもを指す「きょうだい児」への行政の支援について先進市の取り組みを紹介し支援拡充を要望。前向きな回答あり。②こどもコミッショナーやこどもアドボカシーの取り組み、子どもの権利条例の制定について進めてほしいことを提案。③海老名市の不登校児童生徒数は412名（2024）。フリースクールが一部の子どもたちの受け皿となっているが持続可能な経営が厳しいのが現状。公費投入の必要性を訴えた。



9月

- ①包括的性教育について ②農地の市街化と人口増について

①人権をベースに科学的根拠に基づきジェンダー平等の視点を大切にする包括的性教育を広く市民に伝えたい強い想いで質問。教育委員会は積極的に取り組んでいましたが、保健福祉部や男女共同参画の管轄は理解不足だったため研究して市民に広く周知してほしいことを要望。②人口15万人を目指す海老名市は、受皿となる宅地を確保するために、田んぼが広がる市街化調整区域を開発しやすい市街化区域に編入しており、すでに市役所周辺の約39.4ヘクタールが市街化区域に編入された（右図1）。さらに次の計画が進行中で、上今泉や下今泉、上郷・河原口、市役所西側など計4か所、合計85ヘクタール（右図2）が市街化される予定。どこまで都市化するのか、環境や市民生活に与える影響についてどのように考えているのかを多角的に質問。市長の回答をしては、地権者が農業を継続できず売りたいというのを止められないということでした。



都市計画審議会での議論のご報告

私はこれからの時代は気候危機や食料危機、災害への備えなどが重要で、都市化よりも自然を守り農地を守ることの価値が高まると考えています。そのような立場から、審議会では都市化や人口増の弊害について問いましたが、市はあくまでも今の都市計画を遂行しているため意見は合わず、市の利便性の良さから人口増加は避けられないため、宅地を増やさないと狭小住宅が増えることなどが懸念されるため宅地増は必要との回答でした。また他の委員から市街化区域の生産緑地がどんどん宅地化されていくことに対して、市が買い取って計画的に整備するべきではという意見も出ていました。海老名市は生産緑地の買収は行っておらず、宅地化は

仕方ないという姿勢です。海老名市の土地価格が上がっていることや農業の担い手不足もあるため非常に難しい問題であると痛感しています。しかしながら、今のまちづくりの方向性に賛同はできません。今後の市街化区域編入を注視し、みなさんとともに考えていきたいと思っています。



Vol.7 2026.2

海老名市議会議員

ありいあいこレポート

2023年に無所属新人として初当選。
吉田みな子議員と会派「涼風の会」を立ち上げる。
現在の所属委員会は【文教社会常任委員会（副会長）】【広報委員会】
【議会改革特別委員会】【都市計画審議会】

Tel:090-2496-5778 Mail:ebina8dori@gmail.com



涼風の会

2025年度
6月～12月
議会報告

今改めて問いたい『公共』の在り方について

市議になって丸2年が経ちました。市民と議会の距離を近づけていくことをモットーに、引き続き活動していきたいと思っています。さて、12月定例会において市長が「公共トイレもある程度有料化しないと管理できない」と発言しました。これはたち議員の一般質問において喫煙所の在り方についての答弁の中で出てきた発言で、「何でもタダで使えるということではなく使う人が一定の負担をするという時代になっていく、アメリカのレストランのトイレはほとんど有料だ」とも言っています。

市長は、私が議員になって初めての一般質問で公共施設附帯駐車場有料化について取り上げた際にも、「公園の遊具を設置するには何千万円もかかるが使用料はとれない。魅力があれば1時間100円の遊具だっていいと思っている。」と発言したり、コミセンについても「電気代くらいは負担してほしい」と発言したり、新しく作る公共施設についても「高い投資をするのだから利用料を上げてある程度回収したい」と発言するなど、公共施設の有料化や値上げに前のめりの姿勢を示しています。実際に今、総合福祉会館の機能を新たに建設する『文化交流拠点』に移転するとしていますが、利用料金や減免制度がそのまま維持されるか未定です。今までの市長の発言を見ると利用料値上げや減免規定が厳しくなる可能性があると懸念します。他にも、高齢者や障がい者の外出を支援する福祉車両「ぬくもり号・さくら号（無料）」は令和8年5月末で運行終了となり、代替サービスとして「Youバス」と「えび〜くる」がありますがどちらも有料です。

もちろん、行政運営を持続可能にするためには財源確保など経営的な観点も重要です。しかし公共サービスは営利企業とは全く違う性質を持っています。公共施設は市民の大切な共有財産であり、こどもから高齢者まで収入に関係なく誰もが安心して利用できる状態を維持することが必要です。市長は、公共施設を利用する人に維持費の一部を負担させたいと考えていますが、有料化することで利用が難しくなる人は必ず一定数います。私は、誰一人こぼれ落ちないように支え合うためには、利用料負担を最小限にする工夫と努力をし、有料化には慎重になるべきだと考えます。公共施設の維持管理に莫大な費用がかかることは分かります。しかし市民から利用料を徴収してもそれが解決策になるわけでは決まてありません。もっと抜本的に税金の使い方を見直す必要があります。

例えば海老名市が今進めている大規模事業として、海老名駅自由通路延伸計画に26億円、大谷杉久保地区公園整備に23億5000万円、河原口高水敷広場整備に8億5500万円、文化交流拠点施設整備に57億円、運動公園改修に56億円などがすでに進行していますが、本当に必要な事業なのか市民的な議論が十分ではありません。海老名市の税収は年々増加しており、2026年度は615億円（25年度比3.7%増）です。

予算がないのではなく使い方の問題です。3月議会では26年度予算の審議があります。市民のための税金の使い方になっているかどうか、しっかりチェックしていきますので是非みなさまの意見や要望もお寄せください！



海老名市の物価高対策は申請・購入式の商品券のみ！

海老名市は、国の『物価高対策重点支援交付金』9億1千149万円をすべてプレミアム付き商品券事業に充てることになりました。申請して購入する必要があるため、仕事や介護で多忙な方や病気や障がいがある方など、申請困難な方が一定数いることが懸念されます。抽選ではなく買いたい人全員が買えるようにするそうですが、そうであれば商品券を全員に郵送する方が全市民に支援が届きます。しかも在勤者も購入可能で、交付金の目的から逸脱しています。買った人は得をしますが、支援が必要な方が取りこぼされる可能性の高い事業内容に涼風の会と共産党は反対しましたが、賛成15名・反対3名で可決。行政も議会も市民生活に寄り添っているとはいいがたく、とても遺憾に思います。



議員報酬引き上げ？議員定数削減？ 政務活動費廃止？

2025年3月に市長が施政方針で発信したことを契機に、議会では【議会改革特別委員会】が設置され、私も委員の一人として意見を述べながら、議論に参加してきました。市民のみならずには分かりにくい点が多いと感じていますが、深刻な問題がいくつも絡んでいます。何が問題なのか是非知って欲しいので、今まで議会改革特別委員会で議論してきた経緯をまとめました。

なにが問題？
どうなってるの？

議員報酬・議員定数・政務活動費に関する議論の経緯！

3月 ※市長が議論を求めた

市長が施政方針の中で、政務活動費廃止と合わせて議員報酬引き上げと議員定数削減について議会での議論を求めた。
(越権行為として有志の議員7名で抗議文を提出。本会議でも議論があった)

4月

議会改革特別委員会が設置され、議員間での議論開始。
(委員会では他にもハラスメント対策や情報保障なども取り扱う)

5月

議員報酬を上げるなら政務活動費廃止や議員定数削減をして全体の費用のバランスを取るべきという意見(政進会・公明党)と、議員報酬・政務活動費・議員定数は分けて考えるべきという意見(涼風の会・共産党・立憲民主・無会派)があり平行線。

6月

政進会より、まずは議員報酬の議論を進めるために、議員報酬と政務活動費は切り離し、議員定数についても今は議論せずに後から議論すべきという考えが示された。議員定数を削減して議員報酬の原資にするという考えには反対の立場を示した上で、その方向で議論を進めることに合意。

7月

議員報酬引き上げの方向で報酬審議会に諮ることになった。
(消費者物価指数を考慮し10%引き上げ)

8月

政務活動費の額について、現状維持で良いという意見と増額を求める意見で分かれる。

9月

政務活動費の使徒基準について、もう少し柔軟にしたい意見と現状維持で良いという意見で分かれる。

11月

報酬審議会からの答申あり。報酬額は適当としつつ、付記として財源確保に鑑み議員定数削減や政務活動費廃止について検討すべきと記載があった。報酬審議会が財源について言及することは今までにないことで極めて異例。

12月

報酬審議会の答申の付記はあくまでも意見であり義務ではないとし、議会は議会としての議論を腐々と続けることで合意。



涼風の会の主張はこちらです！ 【議会改革特別委員会にて】



政務活動費を廃止して、議員報酬に転嫁することに反対！

政務活動費とは、地方議員の調査研究など議員の資質向上のために交付される費用です。例えば研修会費・視察の旅費・レポート印刷&配布費・書籍購入費・事務費などに使用でき、使った分は全てホームページで公開していて、使わなかった分は返還します。これを議員報酬に転嫁するとどうなるかというと、公開の義務がなくなりますから今まで議員活動に限定して使われていた費用が使途不明となり何に使っても良いことになります。さらに今までは使わず余った分は返還されていましたがそれもなく全額報酬として受け取るようになります。さらに、海老名市の政務活動費は月額18,000円ですがこれは他市と比べてかなり低い額です。にも関わらず

予算執行率が50%位と低いのですが、それは会派によって執行率が0%から100%までかなり差があることが原因です。会派ごとに様々な考え方があり執行率が異なるのはいいのですが、廃止して報酬に転嫁したらブラックボックスで使途は議員の自由です。私は議員報酬を上げるより、議員の資質を高めるために政務活動費を上げて欲しいと主張しました。他会派からも増額を求める声は上がりましたが、現状維持という意見が多く、増額の議論は執行率が上がってからということととりあえず現状維持という結論になりました。(市長は令和8年度に政務活動費を廃止して報酬に転嫁するという意向を示していますが・・・)

議員定数を減らすことに反対！

現在海老名市の人口は約14万人で議員定数は22名ですが、これは全国的に見ても決して多い訳ではありません。定数を削減することで懸念されるのは、議会に多様な意見が反映されにくくなることです。定数が減ると組織や団体の後ろ盾・地盤・知名度のない人が選挙で不利になり、新しい意見を持つ人や少数意見を代表する議員が誕生しにくくなります。私は地方議会にもっと当事者目線を持った議員が増えて欲しいと思っています。地域の課題が多様化する今、一つの意見が暴走することなく多様な意見を持つ議員の合議が重要です。定数削減は一見効率化やコストカットのメリットがあるように思われますが、結果的に議会の多様性が失われ権力の固定化を招く恐れがあるため、反対です。

議員報酬引き上げについて

報酬を引き上げるためにはその必要性を市民に説明できるだけの客観的事実が不可欠です。今回は28年間変わっていないことと消費者物価指数の上がり幅を引き上げの根拠としています。議員の立場上、責任の重さに見合うだけの報酬額が必要で、議員はその分市民に還元できるように働かなければならないと考えています。しかしながら現状を見てみると、居眠りしている・私語が多い・発言を全然しない議員もいますし「市民のために働いているの？」と思われても仕方ない面もあります。個人的には今の報酬額を引き上げる必要性は感じていないため、引き上げに反対はしないが積極的に賛成もしないという立場です。

市長はあくまでも自分の主張を通す姿勢！

市長は3月の施政方針の時から一貫して、政務活動費を廃止することと議員報酬を上げること、そしてその原資として議員定数を削減することをセットで進めることを議会に求めています。議会での議論が進んでいてもそれを尊重せず、自分の意向を踏まえた議論をすることを求めており、それがなされない場合は市長側から議案として提案するとまで言っています。市長と議員がそれぞれ自律した権限を持ち、相互に組織運営へ干渉しないことが、二代表制を担保するためには重要です。市長がここまで議会運営に踏み込んだ発言をすることは議会として無視できないことであり、議会改革特別委員会でも取り上げました。

10月14日 報酬審議会

冒頭挨拶にて、「報酬を上げるだけでは市民の合意は得られないから議会の総予算が変わらないように議定数を削減する方法を取りたい。」などと発言。

10月30日 市長定例記者会見

(議員報酬引き上げの交換条件として)「議員報酬引き上げの原資として議員定数を3人減らし、政務活動費を廃止して議員報酬に振り分ける。議員提案がなければ12月に市長提案として出す。」と発言。

11月27日 市長定例記者会見

「私の主張を踏まえて3月議会に提案したいと複数の議員から提案があったので12月議会提案は見送った」「私の意向を踏まえてというのが言質。まったく無視したものがでてきたら私は出し直す」と発言。

市長の発言に対して、再度抗議しました！

市長は、3月に抗議したにも関わらず10月と11月の定例記者会見で議会のことについて踏み込んだ発言をし、さらに議会から自分の意向を踏まえた提案がない場合は市長側から条例提案するという威圧的な発言もしました。(詳細は左ページ参照)これは議会の自律性を侵害するもので看過できないとして、再度涼風の会として抗議をしました。

議会の自律性とは？

地方議会が外部(市長など)からの干渉を受けず、内部の組織・運営(会議規則、会期、懲罰、議員の資格など)を自らの意思で自主的に決定・処理する権限のこと。これにより、議事の円滑な進行と独立性が保障されます。



支出伝票(兼領収書)

2026年3月30日

会派名	涼風の会		決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広報費					
摘要 (何を)			数量	単価	金額	
郵送代			600	96	57,600	
合計				57,600		
用途	議会活動レポート郵送のため					

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収書

涼風の会

様

[別納引受]
区内特別区
@96

13.0g
600通
¥57,600

小計
¥57,600

郵便物引受合計通数
課税計(10%)
(内消費税等(10%))
非課税計

600通
¥57,600
¥5,236
¥0

合計
お預り金額
おつり

¥57,600
¥60,000
¥2,400

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2026年 3月30日 13:25
発行No. 260330A3915 端N93箱02
連絡先: 海老名駅西口郵便局
TEL: 046-233-0203

支出伝票(兼領収書)

令和 7年 7月 22日 ✓

会派名	涼風の会	決裁欄	代表者		経理責任者
科目	広聴費				
摘要 (何を)		数量	単価	金額	
施設使用料(ピナレッジ)				1,500	
合計				1,500 ✓	
用途	・「インクルーシブ教育と包括的性教育についてみんなで話す会」開催のため (テーマについて、広く要望や意見を聴くために開催)				

決裁欄については、押印又は自署をお願いいたします。
領収書等添付欄 (添付しきれない場合は裏面へ)

領収証

涼風の会

ありい あいこ

様 No. 08031

¥ 1,500-

但

会議室使用料として

入金日 2025年 7月 22日 上記正に領収いたしました

収入
印紙

内訳

税抜金額 ¥1,364

消費税額等 (10%) ¥136

海老名市さつき町51番地の2
指定管理者 相鉄・コナミスポーツ共同企業体

登録番号 T6020001015213

